

土壌改善のためのカルシウム

### 期待できる効果

水の浸透性改善

通気性の改善

栄養素吸収のサポート

### 含有成分量

カルシウム (Ca)	10%
界面活性ポリマー (生分解性)	22%

### 特長

- ・他の成分と結合しやすいカルシウムを特許技術のマイクロカプセル化によって保護。圧倒的な吸収率で、効率的な施用が可能。
- ・カルシウムイオンが、土壌の団粒化を促進し、微細孔隙（水みち）を作る。
- ・微生物分解性の浸透剤成分を含み、土中深くまで、カルシウムと水分を浸透させ、根の成長を助けると共に、栄養素吸収を促進。

### ポイント解説

一般的なカルシウム資材は、土壌内で、他の物質と結合してしまい、ほとんど吸収されずに長期に渡り残留してしまいます。また、土壌の団粒化による適度な保水性と通気性の確保が重要です。水はけが悪く、硬くなってしまふ、或いは水溜まりが出来てしまふ、といった土壌の改善に！

### 施用量

※あくまで、目安となります。作物によって、多少の違いがあります。

土壌改良	500~1000 mL/10アール	30~45日間隔
------	-------------------	----------

液体資材



灌注、スプレー散布などの散布方法に関わらず、施用面積10アールに対して水量500L、本製品500mLでご使用の場合、希釈倍率は1,000倍となります。

荷姿： □9.5L □1L

ペネカル

主な栄養素の含有%

N	P	K	Ca
-	-	-	10

リドックス製品の特徴

リドックスのほとんどの製品にはアミノ酸・フミン酸・フルボ酸などの成分を含有しています。これらの成分は植物栄養素となる成分をキレーション・コンプレクシングといった特殊な化学反応を用いて保護しています。そのため、資材混合後のタンク内や施用後の土壌内で、植物栄養素となる成分同士が不必要な結合を行い、植物が利用できない形になってしまうことを回避することができます。また、カルシウム含有の液体資材などにはマイクロカプセル技術が使用されており、マイクロカプセル化されたカルシウムは他の成分との不必要な結合が回避されるだけでなく、マイクロカプセルに使用されている界面活性剤により、葉面での残効性と土壌中での浸透性を向上します。これらの技術が適用されているリドックス製品は、植物栄養素の化学結合による難溶化を回避します。そのため、一般的な農業資材よりも施用量に対する吸収効率が80%以上と高く、少ない施用量でも高い効力を発揮します。リドックス製品は植物栄養素の保護によって従来では無駄に発生していた難溶化成分を極端に減らすことから、持続可能な“サステイナブル資材”として期待されています。



Redox技術による成分保護のイラスト

ペネカルの土壌団粒化

カルシウムは土壌内でリン酸と化学的に結合してしまうと、植物が栄養素として利用しづらい形態となってしまいます。リドックス社ではこの不必要な化学結合を回避するため、ペネカル含有のカルシウムにマイクロカプセル化という技術を施しています。マイクロカプセル化されたカルシウムは界面活性剤によってカルシウム成分を保護することで、土壌内での不必要な化学結合からカルシウムを守ります。

また界面活性剤との相乗的な効果によって、土壌中のより深く、より細かな場所までカルシウム成分を行きわたらせることが可能となっております。結果として、土壌内におけるより広い範囲の土壌粒子表面にカルシウムが付着することで土壌の団粒化が促進されます。団粒化した土壌は通気性・透水性・保水性に優れ、水分や植物栄養素の移動度が増すだけでなく、根の成長を改善します。

